



# 神内っ子

笠岡市立神内小学校 学校だより

令和3年7月19日 No.11

【笠岡東中学校区小中一貫教育 教育目標】

郷土を愛し、夢の実現に向けて高め合い、  
たくましく生きる児童・生徒の育成

- ・進んで学ぶ子
- ・思いやりのある子
- ・元気な子



## 有意義な夏休みに

7月に入り、警報が出るほど、たくさん雨が降りましたが、例年より早く梅雨明けが発表されました。新型コロナウイルス感染症の方は、ワクチン接種が始まり、いくらか安堵感が広がっているようです。しかしながら、強力な感染力を持つウイルスによる感染拡大が連日報道されている状態で、ワクチン接種をしていない子どもたちを守ることが引き続き必要です。

早いもので、1学期が今日で修了します。振り返ってみると、子どもたちがいろんな場面で輝いていました。日々の学習の中で、意欲をもって活動する姿をたくさん見ることができました。自主学習では、分からないところを分かるように、テストでいい点を取るために、テストで間違えたところを分かるようにするために、2学期に習う漢字頑張るなどという気持ちが本当に素晴らしかったです。また、今年度から導入したChromebook等のタブレット端末をごく自然に起動して学習用具として活用している様子を見て、感心しました。学習意欲が非常に向上しているとともに、ペアやグループ学習、そして、自分に合った学習ができ、考えをまとめたり、深めたりして友達と共有することができています。毎月はじめの児童朝会や先日の「歯のひみつ集会」など、オンラインで行うことが普通になり、工夫して集会活動を行うことができています。子どもたちの意欲と頑張り、そして教職員の熱意とチームワークが素晴らしい1学期でした。

次は、7月の児童朝会で、子どもたちにした話です。

夏の夜空といえば、『夏の大三角』。七夕の織姫（こ座のベガ）とひこ星（わし座のアルタイル）と、はくちょう座のデネブを結んだ三角形をいいます。夜8時ころ東の空にベガから見え始め、一晩掛けて西の空に移動します。時には夜空を眺めてみてください。

さて、星は夜見ることができそうですが、昼も同じように輝いています。随分前に兵庫県の天文台に行ったとき、昼に観望会をするという放送が入り、そう大きくない望遠鏡で見えるのかと半信半疑で覗いたことがありました。星は、人が見ている見ていないに関係なく、自分の光を放って輝いています。同じように、どの子どもも自分の輝きを持っていて、誰も見ていない時でも自分の光を放って輝いてほしいと常々願っています。また、望遠鏡を向けて昼に輝いている星を見るように、周りの友達に目を向けて、その輝き（良さ）を感じてほしいです。この友達の良さを見ようとする目は『心の目』で、この『心の目』を持って、温かい神内小学校の雰囲気をつくってほしいと思っています。

6月の児童朝会では、紫陽花について話をしました。花びらのように見えるのは「がく」で、「花びら」や「おしべ」「めしべ」はその中にあるということ、一つ一つ微妙に違った色の小さな花が集まって咲いている様子が、一人一人の子どもたちが集まって一つの学級、学校をつくって生活している神内小学校の子どもたちと重なるということ話をしました。色鮮やかに咲いていた校門の紫陽花も、現在は枯れたように変色しています。もう花が終わったのかと思ってよく見てみると、渋い色に変色してしっかり咲いていることに気がきました。『心の目』を働かせて見ようしないと見えないものは案外たくさんあります。

2学期も、子どもたちの成長をしっかり応援していきたいと思っています。よいスタートが切れるように、規則正しい有意義な夏休みを過ごしてほしいと思います。

※井原市の美星天文台にある101cmの望遠鏡でも昼の星を観察できます。詳しくは美星天文台のHPをご覧ください。

## 町探検 ～2年生 生活科～

2年生の生活科で、町探検に出かけました。子どもたちの意見から、人、物、自然をポイントにして、『神島を知ろう』という目標を掲げて出発しました。7月9日は雨の中、出発しましたが、雷鳴のため帰校。12日にまた出直しました。たくさんの発見があったようで、意気揚々と学校に戻ってきました。見つけたものをYチャートという思考ツールで分類しました。次の時間には、見つけたものを付箋に書いて貼り付け、「町探検マップ」を完成させました。また、それぞれ「いちおし」というカードを作り、紹介しました。神島にはたくさんのステキがあることを、みんなで確認しました。

